

「古書販売目録にみる葛飾北斎」

大正～昭和の北斎作品の流通事情がわかります。

千代田図書館では、江戸時代の中期から後期にかけて活躍し、今年生誕250年を迎える浮世絵師・葛飾北斎の作品の売買価格などが掲載された古書販売目録と、目録に掲載された作品の解説などを併せて展示しています。

本展では、北斎の代表作品である『富嶽百景』『富嶽三十六景』シリーズや、滝沢(曲亭)馬琴とのコラボレーション作品『椿説弓張月』の図版が掲載された古書販売目録のほか、大正期に北斎の作品を買い取る際の相場が記載されている『古代錦絵江戸絵又絵紙買入概價表』などをご紹介します。

大正～昭和にかけて北斎の作品がどのように流通していたのかなど、普段とは少し違った視点で北斎の作品をみることができます。

「古書販売目録にみる葛飾北斎」

会期：開催中～3月27日(土)

場所：千代田図書館9階＝展示コーナー

協力：大屋書房、中野書店

■出点数 約10点

■古書販売目録とは

日本における古書売買の歴史は平安時代から始まり、それが職業として成立したのは江戸末期といわれます。そして明治になると、店舗での販売に加えて目録販売(通信販売)も積極的に行われるようになり、商品紹介カタログとして古書販売目録が多く発行されるようになりました。そして、商品のカタログとして作られた古書販売目録は、歳月を経て、過去の書物の存在や価格を知ることができる貴重な資料となりました。

千代田図書館には、そのような古書販売目録約7,000点のコレクションがございます。

千代田区立図書館ホームページ／古書販売目録データベース
<http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/search/kosho.html>

本件お問合せ：千代田図書館 広報担当：坂巻・米村 TEL 03-5211-4288

お客様お問合せ：TEL 03-5211-4289・90／千代田区九段南1-2-1 千代田区役所9・10階